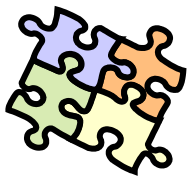


はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2013年4月発行

“はもりあ四日市”にも春が来て、また新たな年度が始まりました。三滝通りの桜は今年もきれいに咲揃い、なんとなく心ウキウキする季節ですが、四日市市の財政状況はまだまだ厳しく、事業予算も緊縮状態が続いています。しかし、はもりあ四日市では、今年度もみなさんと共に“知恵と工夫”と“チームワーク”で、これまで以上に充実した事業を展開していきたいと思っています。今年度もよろしくお祈りします。



平成24年度

「男女がいきいきと働き続けられる企業」表彰

3月26日(火)に大賞を受賞した2社の表彰式が行われました。

四日市市では、男女がいきいきと働き続けられる環境づくりを推進している企業の功績を顕彰するとともに、こうした取り組みについて広く市民の皆さんに知っていただくために、表彰を行っています。



株式会社 中村組



多様な働き方の支援・・・退職した社員に対し、再雇用の機会を提供。本人の状況に応じ、パート社員から正社員などの雇用形態の変更も柔軟に対応。

雇用の維持、推進・・・産休利用者の代替要員として、パート社員を採用。また、復帰後も継続してパート社員を雇用。

各種相談体制の整備・・・従業員が気軽に相談できる機会を提供。



一般財団法人食品分析開発センターSUNATEC

独自の休暇制度の制定・・・次世代育成支援、家庭両立支援、地域社会への貢献目的で利用できるストック休暇制度(失効する有給休暇を年間5日間、最大20日間積み立て可能)を制定。

多様な働き方の支援・・・平成25年度から在宅勤務制度を導入。企業内託児所についても設置を計画中。

長期休暇職員との情報共有・・・産休中、育休中の職員がスムーズに職場復帰できるよう、Webサイトを活用して、センター内の情報等を共有できる仕組みを構築。

ワーク・ライフ・バランスをすすめることは、企業にとっても、そこで働く人にとっても、プラス[★]に

「ワーク・ライフ・バランス」とは、直訳すると、「仕事と生活の調和」という意味で、男性も女性も共に、仕事、家事(育児・介護)、地域活動などさまざまな活動を自分の希望するペースで進められる社会を目指すものです。今回表彰を受けた企業は、ワーク・ライフ・バランスを進めるための様々な工夫や取り組みを行っている企業です。これらの取り組みは、女性だけでなく男性にとっても働きやすく、家庭や地域社会活動、趣味に時間を使える生き方を可能にします。私生活を充実させると、仕事の生産性も向上する傾向にあることは、これまでの先進的な取り組みから実証されており、企業にとってもプラスになる取り組みです。四日市市では、企業のこのような取り組みをこれからも応援していきます。

報告

登録グループのつどい

3月9日(土) 10:00~12:00、はもりあミーティングフロアにおいて、19団体24名のみなさんに参加していただき登録グループのつどいを開催しました。

はもりあフェスタを振り返り、良かった点や改善点など色々なご意見をいただきました。
開催決定！ 平成25年度「はもりあフェスタ」は、平成26年2月7日(金)~9日(日)

男女共同参画研修

坂倉加代子さん(四日市男女共同参画研究所代表)に「男女共同参画」について、雑誌や新聞などの記事を紹介しながら、わかりやすく説明していただきました。「男女共同参画」という言葉は、たいへん硬いイメージで、この言葉自体にアレルギーをもつ人もいます。しかし私たちがもっと使って広めていかなければいけないということ、また政策や事業を決める場に女性が少ないことについて、「日本の女性議員は絶滅危惧種である」と書かれていた雑誌の話、202030(2020年までに、意思決定の場に女性を30%入れるという国の目標)がまだまだ遠い現状など、坂倉さんのお話はたいへん勉強になりました。

交流会では、グループの活動の紹介や情報交換、はもりあフェスタの話、坂倉さんから聞いた男女共同参画についての話などいろいろな話題で大変盛り上がりしました。



<交流会の様子>

春休みこどもさんかくカレッジ

「親子料理教室」を開催しました！

春休みこどもさんかくカレッジは、親子で料理をすることによって、「女の人は料理を作る人」のように、性別で役割を固定するのではなく、誰もが自ら進んで家事に取り組むようになってもらいたい、また、親子で男女共同参画について考えてもらう機会を持ってもらいたいとの思いから企画しました。

【ちょこっとさんかく教室】

幼少期から男女共同参画社会について考えるきっかけづくりとして行い、今回は、「おまえんち、へんなの！パパがいえのことして、ママがしごとにいってるなんて」マユが会う動物たちの「子育て」を通して男女共同参画にふれる物語・・・「へんじゃないもん！」という絵本の読み聞かせをしました。また、「男女共同参画」という言葉を知ってもらうために、バラバラにした男、女、共、同、参、画をカードにして組み合わせるゲームをしました。初めて会った子ども達が相談しながら行った、小さな男女共同参画社会。子どもたちの心に“ちょこっとさんかく”の種をまきました。

(この絵本は、はもりあ図書コーナーにおいてあります)

【簡単手作りウィンナーのホットドックと春野菜のスープ作り】

豚ミンチさえあれば、家庭で簡単に作ることが出来る手作りウィンナーでホットドックを作りました。子ども達も包丁を使って、薄切りや輪切り、みじん切りなどさまざまな種類の切り方にチャレンジしました。その他にも大さじや小さじの使い方、工場で作られる工程や食品添加物についても講師の吉武先生からお話がありました。

<料理教室の様子>



子どもにとっての男女共同参画

国の第3次男女共同参画基本計画において「男性、子どもにとっての男女共同参画」の視点が改めて強調されています。男女がともに家事・育児に参画することは、男女共同参画社会の実現のために重要な要素の一つです。男女共同参画に関する正しい知識や認識を子どもの頃から持つことで、男の子も女の子も、性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、自分のやりたいことにチャレンジして欲しいと思います。

相談室から

いつでもあなたを応援します。

あなたの立場で考えます—あなたがあなたらしく生きるために

女性のための電話相談

火曜日から土曜日 9:00～16:00(祝日、年末年始は休み)
男女共同参画センターの女性の相談員が、相談に応じます。
(お一人30分程度)

女性のための夜間電話相談

毎週水曜日 18:30～20:30(祝日、年末年始は休み)
(お一人30分程度)

相談(予約)電話 059-354-8335

市内に在住、または通勤、通学する女性が対象です。
相談内容は、何でもかまいません。
相談は無料です。 秘密は厳守します。

電話相談の後、ご希望や必要に応じて、面接相談におつなぎします。

面接相談

【予約制】お一人60分程度

必要に応じて、
法律相談や
臨床心理士相談も
受けられます。

こんな相談を...

自分自身の生き方
夫婦のこと
男女のこと
離婚のこと
家族のこと
夫・恋人からの暴力
職場の人間関係 など



予告 7月から始まります

男性相談員による

男性のための電話相談

毎月第2土曜日 12:00～15:00
(祝日、年末年始は休み)

男性からの相談を、男性の相談員が
お聴きします。(お一人30分程度)

詳細は、「広報よっかいち5月下旬号」で!

今月のキーワード

男女共同参画

1999年に施行された男女共同参画社会基本法では「男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に、政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、ともに責任を負うべき社会を形成すること」と定義されています。

つまり「男女共同参画」とは地域や家庭、職場、学校など私たちの全ての生活の場で、女性も男性も性別で差別されることなく、自らが選択し、自分自身の能力や個性を発揮できること。そして、男女が対等なパートナーとしてお互いを尊重し合い、喜びと責任を分かち合うということです。単に「男女平等」という人権の側面だけでなく、男女が対等なパートナーとして社会を動かしていくための社会システムの変革も意味しているものです。

「男女共同参画」という言葉は、作られてから20年ほどの比較的新しい言葉です。現在では学校教育の中でも使われ、普及してきてはいますが、まだまだ社会全体の中にしっかりと浸透しているとは言えません。「男女共同参画」という言葉の意味を、しっかりと伝えるために、もっとこの言葉を使い、啓発をしていきたいと思ひます。

男女共同

さんかくeye

新しいコーナーが始まります。ここでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、「男女共同参画」の視点 \star を通してね。

さて、今回は、先日観てきた「すーちゃん まいちゃん さわ子さん」という映画をご紹介します。

この映画は、年齢も仕事も違う3人の女性たちが、恋に仕事に迷いながら、それでも力強く生きるリアルな日常と3人の友情が、作品全体に流れるほんわかとした雰囲気の中で描かれていました。

ストーリーがすすむ中で、“女だから、こうなの？”と思うところが多々ある中、私が一番引っかけた一場面。あるきっかけで同級生と再会し、交際がすすむさわ子さん。ところが、その男はなんの悪気も無く(?)、「親が早く孫の顔が見たいって言うから、子どもが生まるっていう証明を取ってきて欲しい。」と言い放つ…。一旦は「分かった」と返事をしたものの、腑に落ちないさわさんは、「あなたは?なんで私だけ?」と返す。このことがあって、別れを選択したさわさんに、私は心の中で「正解!」と叫んでいました。でも、きっとまだまだこんな現実があるんだよね～と、寂しさを感じずにはいらませんでした。“結婚って?” “子どもを生む、生まないって?”…いろいろと考えさせられたシーンでした。

この映画は、益田ミリの漫画「すーちゃん」シリーズが原作。“はもりあ”でも購入予定です。 【担当:K】

登録グループイベント情報

- 4月19日(金) 『徒然草』を読む ~人生の達人の文章を一緒に~ 偶数月第3金曜日に開催
第1回 序段~第40段 「いい男の条件」「蜜柑の木を囲う独占欲」の話
時 13:30~15:30 所 本町プラザ2F 第1会議室 費 700円
事務局連絡先 奥田かなえ (tel/fax 059-321-8468)
- 4月27日(土) 薬物の問題 ミーティングガイド
ナラノン ファミリー グループは、家族や友人等の薬物の問題でどうしようもない状況に陥っている人たちの集まりです。
ミーティングへの出席に予約の必要はありません。
時 13:00~15:00 所 本町プラザ3F はもりあ四日市 企画室
問 ナラノン G.S.O. (03-5951-3571)
- 5月 9日(木) 坐っトレーニング
上半身を中心にやさしい軽い運動です。車いすの方もご参加して下さい。
時 10:00~12:00 所 本町プラザ3F はもりあ四日市 こどものへや
問 まんなか(みえ医療福祉生活協同組合/四日市地域)金森和美(059-353-5893)
- 5月15日(水) 高齢期を迎える為の50代60代からの整理収納
22日(水) 人生の実りを楽しむ為に!(4回シリーズ)
29日(水) 簡単に楽しく出来る整理の進め方の基本、他
- 6月 5日(水) 時 14:00~16:00 所 本町プラザ3F はもりあ四日市 会議室 定 12名
申・問 くらしの夢プラン 講師 中村 (tel・fax 321-2970) まで。

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は **"NPOこころネットワーク"** さんです。 連絡先 飯田 季美子
090-1987-1200

心理学、精神分析、カウンセリング等の啓蒙を通して、社会に貢献することを願いとして活動しています。主な活動は、月2回程度のブラッシュアップ・トレーニング(心理学、心理テスト、カウンセリング等の学習会)、健康フェスティバルでの心理テスト、心理学講座(市民大学講座など...)などです。

心理学の講座やイベント等のご依頼がありましたら、ご連絡下さい。

あとがき

今井が市民税課へ異動になりました。3年間お世話になりました。m(_ _)m
新年度からはイクメンの岩波が配属となります。みなさんよろしく願いいたします。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>